

きずな

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター
健康で 楽しく 幸せに

2022.07

Vol.039



目次

- 令和4年度定時総会開催
- センター設立30周年記念事業
- 令和3年度を終えて(活動総括)
- 新入会員セミナー
- 仕事と人生
- さあ、ゴルフでエンジョイしよう!
- 女性会員たちの活躍
- 地区活動レポート
- わたしの職場
- わがボランティア
- 歴史に学ぶ

〈令和4年度定時総会開催〉

令和4年度定時総会が6月24日、市民ホールやたべで開催されました。

総会は、尾台理事長の挨拶、来賓としてつくば市副市長松本玲子様から祝辞をいただきました。そして、資格審査で出席者84名、委任状389名、計473名(会員総数625名)で総会が成立。議長に中島肇会員を選任し、議事として令和3年度収支決算、新しい理事・監事の選任の2題、報告として令和3年度事業報告、令和4年度の事業報告と収支予算の3題が監査委員、理事長、各担当役員から提案されました。これらは一括して審議され、あらかじめ提出された質問に関係部署の理事が回答しました。その後、要望事項、関連提案が出され、担当部長から当該委員会で検討する旨回答がありました。審議の結果、議案、報告はすべて可決、承認されました。

議長の解任後、安全標語の表彰の発表、80歳以上の会員および功労者に対する表彰を行い、代表者に賞状が授与されました。

総会の冒頭、尾台昌治理事長から次のような挨拶がありました。

会員出席の総会は、3年ぶりの総会となりま
す。任期2年間はコロナ禍で、公共施設、学校、
レストランなどが休館や営業自粛によって経済
や生活が混乱する中で、自宅でリモートワーク
という労働スタイルも始まりました。しかし、
ここに来てロシアのウクライナへの侵攻で、石
油、小麦の高騰、円安で経済や生活に影響が生

じています。

センターもコロナ禍で、就業先の施設・事業所の閉鎖等、さらに理事会、委員会、研修会や技能審査会の開催中止、新人会員の減少、剪定・草刈りなどの受注減で運営や収益に影響が出ました。また、2年間でセンターを取り巻く労働環境が変わりました。65歳定年、『就労希望者の70歳までの雇用』の努力義務化で、センター入会者の年齢が高くなり、『同一労働・同一賃金』制度の導入で高齢者が若い人と同一の労働成果を求められ、また、会員数の伸び悩み、後継者育成の遅れなどで難しい運営を強いられています。新たな就業先の確保、事業の開拓、運営の効率化などを進め、持続可能なセンターに変わらなければなりません。そのためには理事会、事務局が一体になった運営そして会員の協力が必要であること、が述べられました。

【五十嵐つくば市長の「祝辞」】

理事長をはじめつくば市シルバー人材センターの会員の皆さまには、日頃から一時預かりの子育て支援事業・子育て支援ルーム「きずな」のほか、リサイクル自転車事業、農業サポーター事業、空き家対策事業など、市政全般にわたり多大なるご協力と深いご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、講習会の中止など多くの活動が制限され、大変苦慮されている中で、マスクを寄贈していただくなど市民のために日々ご尽力いただいていますことに、心から敬意を表します。

つくば市は、住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくりを基本理念として福祉事業を進めています。このような中、シルバー人材センターが高齢者の雇用や生きがいを創出する場となり、会員の皆さまが積極的に多岐にわたる活動をされている姿は、つくば市にとって大きな活力となっています。つくば市では、引き続き、活動内容の紹介や会員募集の周知により、新たな就業先の開拓、就業機会の増加、会員の増加につなげ、会員の皆さまがさらに充実した活動ができるよう全力でサポートしていきます。今後とも、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちの実現に向け、ともに取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

結びに、つくば市シルバー人材センターの益々のご発展とご多幸を、心からお祈り申し上げます。

【新役員紹介】

新しい理事・監事が総会で承認されました。

(順不同・敬称略)

【理事】

土田 禎太郎 (再任)	深谷 淳一 (再任)
小杉 晴彦 (再任)	酒井 清貴 (再任)
寺田 桂樹 (新任)	西原 静江 (新任)
久保田 明 (新任)	坂本 二郎 (新任)
張元 政治 (新任)	

【監事】

金子 和雄 (再任)	山峰 國彦 (再任)
------------	------------

※総会後の初の理事会において互選により、

(注) きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

小杉晴彦氏が理事長、深谷淳一氏が副理事長に選任されました。

【会員表彰】

正会員として多年にわたり、つくば市シルバー人材センター事業の運営に尽力された功績を称え、定時総会において、公益社団法人つくば市シルバー人材センター表彰規定により、次の方が表彰されました。おめでとうございます。

- ・ 80歳以上の表彰者…26名（内女性10名）
- ・ 功労者表彰（在籍15年以上）…11名（内女性2名）

〈事務局長着任のご挨拶！〉



松浦裕之事務局長が転出し、この度、4月1日付で後任として着任いたしました白井稔でございます。会員の皆様が元気に就業できるよう、安全就業と適正就業の確保に取り組んでまいります。事務局職員とともに頑張っておりますので、会員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。（白井 稔）

〈センター設立30周年記念事業！〉

【設立30周年記念事業が無事終了】

つくば市シルバー人材センターは、平成4年2月5日設立以来、本年30周年の節目を迎えることができました。今回、30周年記念事業を企画いたしましたのは、歴史を振り返るとともに、発注者をはじめ関係者の皆様へ感謝の思いを伝えること、より一層良好な信頼関係を構築する機会に

なればとの思いからでありました。そこで、理事会の中に30周年記念事業実行委員会を設け、記念誌は記念誌発行分科会、式典の催事は催事分科会において1年を掛けて準備をしてきました。

記念誌は、「設立30周年記念誌」として6月初旬に発行され、すでに皆様のお手元に届いていると思います。式典の内容については、後述の「設立30周年記念式典開催」に記しております。この場をお借りして、見事な演技を披露された芸能の皆さま、ご多忙の中ご祝辞を賜りました五十嵐立青市長様、小久保貴史市議会議長様、綿抜剛県シ連会長様、そして貴重な講演をいただきました鎌田實様に、厚く御礼申し上げます。

事業には、多くの会員に参加いただき、記念誌の編集・発行、式典実施に携わっていただきました。特に式典は、コロナ禍の中、式典規模や催事の内容がなかなか決まらない状態が続き、2月になってやっと実質的な行動に入るといいう状況でした。センター役員の不慣れ、準備と宣伝不足もあり、雨天の悪条件もあって会員の参加者が少ないなど、充分満足できる結果とはいえませんが無事終了することができました。会員の皆様、役員および事務局職員の協力と努力によるものと深く感謝いたします。ありがとうございました。今後の一里塚になればと祈念する次第です。（尾台昌治）

【設立30周年記念式典開催！】

設立30周年記念式典が令和4年5月14日、市民ホールやたべにおいて開催されました。あい

にくの雨天の中、たくさんの方の会員と市民が参加し、盛大に行われました。

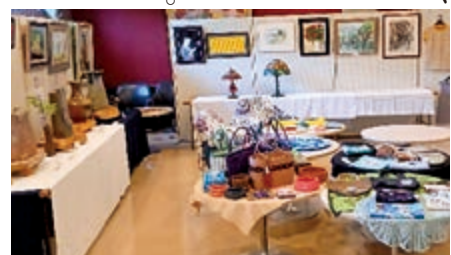
当日、市民ホールの玄関前で会員が生産した米、朝収穫したフキ、ネギ、トマトなどを販売、ロビーでは女性会員が製作した手提げ袋、布草履、セーターなどの小間物の販売、絵画や陶器、ステンドグラス製の電気スタンドなどの作品が展示されました。

記念式典は、市民ホールの大ホールで行われ、午前中は会員の皆様による筑波山ガマの油売り口上、南京玉すだれ・ひよっこ踊り、吉瀬ばやしなどの芸能や演奏が披露されました。卓越した演者の話術、しぐさや表情に感嘆し、太鼓や笛の演奏の雄大なリズムを堪能しました。

午後は、記念式典が挙行され、理事長の挨拶、続いて五十嵐立青市長、小久保貴史市議会議長、綿抜剛茨城県シルバー人材センター連合会長による祝辞、さらに特別会員表彰を佐藤淳さんが代表とし



て授与されました。その後、記念講演として諏訪中央病院名誉院長の鎌田實氏による『人生100年時代に仕事をやる意味、健康・働く・役に立つことが大事』と題した講演がありました。この講演では、加齢により心身が老い衰える状態、すなわち『フレイル』にならないこと、フレイルになると生活の質が落ち、さまざまな合併症を引き起こし、要介護状態に至る原因となる。家に籠ることなく、外出して人と話をし、足の屈伸などの運動、一日野菜350g以上、たんぱく質の摂取量を増す食事を取ることの重要性、シルバーでの仕事は、フレイルを防ぐ



最善の方法との説明がありました。式典の準備のために多くの会員が参加し、米や野菜の提供、さらに作品の出品などで協力があり、式典が盛大に無事終了できたことに感謝いたします。(成島和子)

〈令和3年度を終えて(活動総括)〉

【理事会】令和3年度を振り返って

令和3年度理事会は、4項目を重点目標として取り組みました。①中期事業計画に基づく経営の健全化と就業の拡大。健全化対策として理事会及び執行委員会で実績を報告し、収支相償を推進しました。②地域活動事業及びボランティア事業の活性化。苦戦を強いられながらもよく頑張ったと思います。③会員の増強。外部知人への誘致に工夫を凝らして地区別説明会や女性向けセミナーの開催頻度を増やしたい。④創立30周年記念事業。(大塚誠)

【総務部】令和3年度総括

令和3年度総務部会は、5年間の中期計画を作成し、経営健全化、ICT化、同好会設立に取り組んできました。11月と3月に新人研修会を開催し、規定集の見直しを行いました。令和4年度は、経営健全化、ICT化にさらに力を入れて、コロナで出来なかつたリフレッシュ講習会を開催し、規定集第5版を発行したいと思います。また、現在活動中のゴルフ同好会の他、ハイキング、ダンス、ガーデニングなどの同好会を立上げていきたいと思えます。(深谷淳一)

【事業部会・安全委員会】2年間を振り返って

副部会長・部会長・委員長に選出されてからの2年間は、中期計画の策定、30周年記念事業、人身・死亡事故と例年にならない業務対応、そして新型コロナウイルスの影響で各種講習会・審査会が中止となるなど、事業計画の未達成も多々ある中、自転車部会員の資格取得・生活環境の改善、班長へのアンケートは実施できましたが、対応が不十分で悔いが残る事案でありました。新役員に引き継ぎたい。(薬師寺晴美)

【地区統括部会】

『あおぞら市場』実行分科会発足について

地区統括部会にて「中期事業計画」の一環として「あおぞら市場」実行分科会を発足いたしました。コンセプトは①会員に公平な機会を与える②誰でも気軽に参加できる③家庭菜園の延長の3点です。又、場所選定には時間を要しましたが、今般、大穂庁舎隣公園の場所が決定しました。今後は女性活躍委員会の協力も得て、野菜のみならず、手作り小物品、お花等の販売も検討して、今秋「あおぞら市場」の開設を目指してまいります。(小杉晴彦)

【就業開拓委員会】就業開拓の状況について

新入会員の就業希望として施設管理業務が多くみられます。就業開拓委員会もこの分野の就業開拓を考えました。しかし、コロナ禍の外出自粛などで企業回りもできない状況でした。また、市長との折衝で就業拡大に向けた話し合いの場の設置を求めています。具体的な動きと

なっていません。また、民間については、若い起業家の会合に出席し、業務の拡大を図りましたが、いくつかの職場を紹介されましたが、今度は会員の応募が少ないなどで大きな実績となっていないです。コロナ禍の影響が少なくなり、企業訪問などが日常的に可能になり、さらに、市との話し合いができるようになっていけばと期待しています。(尾台昌治)

「広報委員会」令和3年度の総括

前号(38号)で「幅広い広報(会員の就業拡大、会員の増強、会員の意識調査活動)の在り方」を再検討する必要性を述べました。現状の広報委ではこれらのテーマを直接的に推進するには、能力面で無理があります。「幅広い広報」は、多くの知恵を集約する必要があります。そこで総務部会では、令和4年3月の第6回定例会で「広報宣伝活動については、総務部会の総力戦とする」との結論を得ました。(大塚誠)

「新入会員セミナー」「接遇力向上研修」

令和3年度第2回新入会員研修会が、令和4年3月30日大穂交流センターにて、出席者16人で開催されました。尾台理事長からつくば市シルバー人材センターの理念、現況、問題点など、また深谷総務部会長から安全就業についての話がありました。続いて宝田佳永子



講師による接遇マナー研修会が行われました。皆様、宝田講師の講義を熱心に聞いて、就業マナーを改めて確認しました。(記:深谷淳一)

「仕事と人生」

写真は令和4年6月、荃崎の団地内で、長年のひいき客である個人宅で剪定作業中の小林康彦さん。会員歴12年。地元の荃崎剪定班で活動しているベテラン会員です。コロナ禍で仕事の調整に苦労が絶えませんが、長年のお客さまのご要望に応えたいと頑張っています。小林さんは、かつて会社の仕事で世界各地を飛び回りましたが、とくにタイの人々と心のふれあいが忘れられず、剪定の仕事が少ない冬場にはタイへ行き、現地のコンドミニアムで、地元の人々と交流を温めているそうです。仕事と人生の両立は、小林さん流の生き方なのでしよう。(山内)



「さあ、ゴルフでエンジョイしよう!」

ゴルフを通して仕事以外のでのつき合いの場になれば、との思いから立ち上げたエンジンジョイゴルフサークルは、現在登録会員数 男性10名です。月イチプレイを基本にしていますが、全員が顔をそろえるには至っていません



ん。無理をしないで自然体、都合のつく方が一緒にする、そんなフリーなプレイスタイルではないのではと思っています。日程調整がしやすいので、スマホで連絡しあっていますが、スマホ無しでも参加OKです。

今は緑が綺麗で目にも優しい。四季折々にそれぞれの風景があつて心が広々と解放されます。まだまだコロナも気になりますが、屋外のスポートでもあり、気分転換には最高です。多くの同好の友、そして女性の参加もお待ちしております。連絡先は事務局まで。(記:SJC エンジョイゴルフサークル 幹事 飯田)

「女性会員たちの活躍」

「今年も頑張りました!」

谷田部の5小学校に雑巾贈呈

思い起こせばこの冬、コロナ禍でサロンに集まって小物作りもできないため、会員の皆さんがそれぞれの家庭で雑巾を縫い上げ、それらを谷田部地区の小学校5校に寄贈しました。それぞれの学校から感謝されましたが、有効に活用してくれているでしょうか。皆さん、本当に協力ありがとうございます。今度はみんなで集まったの製作、楽しみにしています。(小倉武子) 写真は谷田部南小学校での贈呈式。



「ワードでお絵描き」荃崎。パソコン同好会

この会は十年ほど前、荃崎地区の女性グルー



パソコンをやってみた
 いとの希望がありました。
 当初はワードやエクセルなど
 の基本的なことを勉強してい
 ましたが、日常の生活で使う
 機会が少ないことから、なか
 なか進展がありませんでした、
 しかし、会員が持っているパ
 ソコンを有効活用する方法として、ワードを
 使って絵を描いてみようとなりました。今では
 絵を描くことが楽しみとなっています。今まで
 百種以上の絵を描いてきました、当初は単純な
 図形の組み合わせでしたが、最近は大分複雑な
 絵が描けるようになって
 います。完成した絵は、友
 人へ送るなどして楽しん
 でいますが、受け取った人
 からはネットの絵を貼り
 付けただけではいかと、
 ワードで自分が描いたと
 は信じてもらえない不満
 もあります。また、会員
 の作品を貼り付けたカレ
 ンダーを毎年作り、茎崎祭
 りで販売することもしま
 した。最近では茎崎地区新年
 会参加者に提供するなど
 利用いただいています。こ
 れからも楽しく挑戦して
 いきたいと思っています。
 (下は作品の一例です)



〈地区活動レポート〉

①【茎崎地区】アダプト・ア・パーク

令和4年3月19日(土)、
 すっかり晴れた気持ちのいい
 朝です。昨夜の大雨を考えると
 望外の14名参加を得て、中
 山公園でのアダプト・ア・
 パークです。茨城のコロナ感
 染者の数を考えると蔓延防止
 解除は早すぎるとのご意見も
 あり、気を緩めずマスク・手洗い・三密回避の
 基本動作を再び確認しました。



②【谷田部地区】アダプト・ア・パーク&輪投げ

令和4年5月28日 緑濃
 き薬師下公園でアダプト・
 ア・パーク。参加は22名(男
 性8、女性14名)。その内、
 5名の初参加がうれしい。
 「トンゲとゴミ袋」をもって
 公園内のゴミ拾い、燃やせ
 るゴミ、缶、瓶等に分別収
 集して、公園美化の社会貢献を終え、お楽しみ
 の輪投げです。奥深いゲームで「体も頭も使う
 全身運動」です。そう簡単に的に入らない。最
 初は気軽に、やがて「本気モード」に。高得点
 が出る度に拍手と歓声上がる。「楽しかった！
 次回も実施して！」の声が多数です。楽しい交
 流となりました。(文責：西田光昭)



③【筑波地区】チラシ配布活動

令和4年3月27日、15名の参加を得て、新規
 会員募集のチラシを安食地区に300枚配布し
 ました。一組3名、5組編成で、留守宅にはポ
 スティング、在宅者にはチラシを手渡し、会員
 募集とセンター入会後に請け負う仕事のこと、
 それを通して実感する健康と生きがいのことな
 ど話しました。反応さまざまで大変勉強になり
 ます。

今後、この活動を通し、会
 員相互の親睦に努め、また、セ
 ンターの広報活動・就業拡大の
 一助として継続してまいりま
 す。(文 染谷武彦)



〈わたしの職場—シルバーの汗〉

わたしたちの仲間がどんな仕事をしているか、
 そしてシルバー人生をどのように感じておられ
 るか。ご紹介します。①氏名(入会年数)(年齢)
 ②勤務先 ③どんな仕事 ④どんな気持ちで仕
 事してますか? ⑤いいこと、失敗談・苦労し
 たこと(あれば...) ⑥シルバー人生どう思っ
 ますか?(今回は3名の方に絞らせていただき
 ました。)

①【筑波学院大学 施設管理】

① 深谷淳一(5年目)(74歳) ② 筑波学院大学
 施設管理 ③ 学内の照明、空調、各出入口の施
 錠開錠を管理室のPCで集中管理。ただし、3
 分の1が故障しているので、現場に行って対応
 する。 ④ セキュリティを含む重要な仕事なの
 で、ミスの無いように心掛けています。 ⑤ こ



「なにしてるの?」「お花みつけたいヨ」など話しかけてくれる時は、楽しく癒されます。⑥3日に一回、短時間の軽作業ですが、責任と義務を伴う仕事を持つ事で、仕事以外の日も含めて、月間行動計画を作るよう

の仕事について間もないころですが、事務所の照明、授業中の教室の冷房を切ってしまった事がありました。⑥11年前に、つくば市に転入して市内に友人や知り合いが少なかつたが、シルバー人材センターに入会して、仕事、役員、同好会に知りあいや友人がででき、自分の居場所が出来た感じでした。会員の方やセンターに少しでも貢献できればと思い、役員をしています。



②【城山保育所の清掃業務】

①真鍋 敬二(13年)(77才) ②市立城山保育所 ③午前8時～11時の3時間・男性3名でローテーション。主に外回りの清掃業務・庭掃き、テラス拭き、砂場の砂おこし、草取り、側溝清掃、庭木剪定、ゴミ出し等々。午後16時～18時の2時間・女性2名でローテーション。主に室内清掃 ④心掛けていることは「保育の妨げにならないこと」、「子供達の活動場所を安全に整備すること」です。⑤清掃中に、園児が寄ってきて「なにしてるの?」「お花みつけたいヨ」など話しかけてくれる時は、楽しく癒されます。⑥3日に一回、短時間の軽作業ですが、責任と義務を伴う仕事を持つ事で、仕事以外の日も含めて、月間行動計画を作るよう

になりました。大袈裟ですが毎日有意義に過ごせます。体力に見合った仕事がある限りシルバールの仕事を続けたいと思っています。

③【荃崎児童センター館内清掃業務】

①金井久子(18年) ②荃崎児童センター ③図書室・個室等館内清掃(3名のシフト)。プレイルーム等は大きなモップでの往復清掃です。④ケガ等しないように、また、コロナ禍の中で利用者に気持ちよく利用して頂ければと気を付けております。⑤職員の皆さんによくしていただいで感謝です。⑥何より足腰元気、ここでも感謝です。気が付けば80歳、この年まで働かせて頂ける職場に出会えましたこと、またシルバー人材の会員となり、人との関わりができることは有難く、幸せを感じ、毎日楽しくすごしております。

＜わがボランティア＞

ボランティア活動への勧め

定年後、毎日が日曜日、趣味の囲碁と卓球、図書館通いの日々。その頃、花畑自治会長へのお誘いがあり引き受けました。花畑という地名とは裏腹に全く花は無く芝生だけの地区でした。小学生の女の子から「ハナバタケなのに花がないのネ」と問われ、それでは、花壇を造ろうと各丁目の公園に花壇を造ることにしました。たまたま、市の松見公園花壇を世話している女性に花について師事することになり、私のボラン



ティアのはじまりとなりました。森林研究所から縁石用に丸太を仕入れ、春秋の花植え等は毎年先頭を切って実施してきました。併せて、ウォーキングを兼ねて小学生登校時の交差点での立哨を日課とし、早13年目を迎えました。松見公園花壇の世話は、毎週火曜日2時間の作業(花柄摘み、植え付け、施肥、水やり、堆肥作りなど)の他、プランター、物入れ小屋造り、イベント用テーブル、椅子の作成等も引き受けてきました。その後、自治会長時代の経験を買われ、民生委員を委嘱され6年目となりました。毎月担当地域の高齢者あてに月間「民児だより」を発行し、福祉サービス等の各種情報を掲載し周知を図っています。

長生きの秘訣は、ある時、耳にした諏訪中央病院名誉院長鎌田 實氏の「ボランティアをすることにより、オキシトシンという幸せホルモンが分泌され、人を幸せにしてくれる」との言葉で、今も心に刻んで日々忙しく活動しています。(記…大塚恒夫)

写真(上から)・つくば駅前プランター花壇の手入れ・松見公園癒しの庭の手入れ・松見公園ベンチの作成、設置とプランターの手入れ




〈歴史に学ぶ〉

ウクライナ 民族独立の戦い その一

ウクライナは、欧州でロシアに次ぐ広い国土60・3万km²(日本の1・6倍)と人口4159万人を有し、小麦、トウモロコシ、ひまわりなど農産物の輸出や科学芸術スポーツの大国です。近年、政治経済で混乱が続きました。2022

年2月超大国ロシアの侵略に対しては、国を挙げて徹底抗戦しています。いかなる犠牲を払ってでも独立を守る、ということがどれほど大切なことか、身をもって知っているからです。本号ではウクライナ苦難の歴史を検証します。
※ウクライナとは古くからある言葉で「国、土地」を表します。(山内)

【表紙の説明】
今年4月末、わが団地で3年ぶりに子ども会によるコイ登り揚げやパン食い競争などのイベントが開かれ、みんなが集まってきました。ニコンP510オート。



ウクライナの歴史

紀元後 4～6世紀	ウクライナの地に入った東スラヴ族が、ウクライナ人、ロシア人・白ロシア人に分化
9世紀	キーウ・ルーシ公国の誕生（ルーシはロシアの古名）
988年	同公国ウラディーミル聖公がキーウ市民をキリスト教（ギリシア正教）に改宗
11世紀	キーウ・ルーシ文化の黄金期
1240年	モンゴル軍によるキーウ市劫掠
14世紀	ポーランド、リトワ公国、キプチャク汗国（モンゴル系）によるウクライナ分割
16～17世紀	ウクライナ人とコサックがポーランド支配に反乱
1709年	ウクライナがロシアからの離脱を図って頼ったスウェーデン軍がロシア軍に敗北。ロシアの影響強まる。
1783年	ロシアがクリミヤを併合
1795年	第三次ポーランド分割で、ロシア・オーストリアに分割されたウクライナが地図上から消滅
19世紀	ウクライナの国民的詩人タラス・シェフチェンコが、近代ウクライナ語を創設、ウクライナ民族主義・独立運動の象徴に
1914～1920年	第一次世界大戦、ロシア革命と干渉戦争でウクライナ全土が戦場
1918年	独ソでブレスト＝リトフスク条約締結（広大なウクライナの沃野をロシアが勝手にドイツに割譲）
(1922～1991年)	ソヴェト社会主義共和国連邦（モスクワ）
1923年	ウクライナ化政策（ウクライナ文化の回復運動）開始
1928年	ソ連の第一次五カ年計画と無謀な農業集団化開始
1932～1933年	ウクライナで大飢饉、ウクライナ農民数百万人が餓死
1930～1940年	スターリン政権下で、クリミヤのモンゴル系住民やウクライナ民族主義者が多数殺害
1941～1943年	独ソ戦でウクライナ全土が荒廃。ウクライナ軍民合計530万死亡
1954年	クリミヤがウクライナに移管
1960～1978年	ウクライナで政治文化ルネッサンス活動。民族意識の高揚運動
1986年	キーウ市北のチョルノーベリ原発大事故、ソ連当局の失態で被害拡大
1989年	ウクライナ語が国語となる
1991年	ウクライナ独立宣言。ソ連邦解体
1992年	ウクライナ、ルーブル通貨圏（ロシアの影響下）から離脱
1995年	ウクライナとロシア間で黒海艦隊分割に合意
1996年	ウクライナからソ連時代の核兵器撤去を完了
2000年	クリントン米国大統領がウクライナ・キーウ市を公式訪問、市民に演説
2014年	ウクライナでマイダン革命により親露政権を打倒。ロシアがクリミヤを強制併合。親露派がウクライナ東部二州を一方的に独立宣言、2019年 ロシア、独立を承認
2022年	ロシア軍がウクライナを侵略。フィンランド、スウェーデンが中立政策を転換し、NATO加盟を正式に申請